

神宮前 二丁目 新聞

TAKE
FREE
第6号
2016年8月

パンの店
三河屋支店

雪印アイス

のてこまのり

じん二
神二で暮らす、働く、遊ぶ。
地元メンバーが届ける、超地域限定フリーマガジン。
今号は「古きをたずねて神二を知る」歴史特集。

ポット出版

Q. この写真は
神二のどこ？

A. 表紙の写真は現在の「霞ヶ丘団地交差点」付近



神宮前二丁目セピア色ものがたり

神二のレトロな話をしようか

創刊号で商和会のおじさんたちに取材をしたときから、「昔はこの商店街だけで何でもそろったんだよ」と神二の昔話をちょいちょい聞いていた編集部。神二新聞の公開編集会議では参加者の若いお兄ちゃんが「昔は銭湯があって…」と、昭和を語りだしたり。こちらでガッツリ昔のこと、調べてみようじゃありませんか。

取材・撮影＝田中美菜、田村美沙紀、松村小悠夏 文＝松村小悠夏

★ 神二住民の憩いの場「みかバン」があった
写真右手の白いビルの場所には「三河屋パン店」通称「みかバン」があった。ジャムや店で煮たあんこをパンにのせて、店内で食べられたそう。表紙の写真は昭和31年ごろ。開店祝いでチンドン屋さんが店の前に来ている。(表紙写真提供＝島田清代美さん)



★ 渋谷川を暗渠にして完成した外苑西通り
左の写真は外苑西通りが完成したばかりの昭和40年ごろ。今でも外苑西通りが、霞ヶ丘団地交差点から神宮前三丁目交差点に向かって上り坂になっているのは、もともと丘があったからだという。(過去の写真提供＝島田清代美さん)



★ みんなお世話になった銭湯「松の湯」
現在のセブンイレブン横の駐車場にあった銭湯「松の湯」。入り口前には松の木が目印だった。下の写真は昭和42年ごろ。はっぴ姿が粋な坊やは、La Cantina BESSHOのオーナー・別所正浩さん。(過去の写真提供＝別所順子さん)



★ 魚屋も八百屋もあった神宮前二丁目の商店街
昭和40年ごろ、現在のセブンイレブン前からヤマザキショップに向かう道路は、まだ舗装されておらず砂利道だった。(過去の写真提供＝別所順子さん)

キーワードは
「渋谷川」

神宮前二丁目セピア色物語
神二のレトロな話をしようか

歴史の転換点で かく変わりし 神二の表情

大きな時代の波によって、小さな町も変化していく。
神二をよく知る8人の生き証人たちに
この町がどう変わったかを聞いてみた。



★六

渋谷川にかかっていた欄干。
「味人」[フレッシュネスバーガー]の
通りをはさんだ真向かいに今も残っている。

歴史の転換点 其の壹 第二次世界大戦 昭和14～20年（1939～1945年）

雨降りやコイがどんぶらこ!? 家の裏を渋谷川が流れた時代

神二歴83年になる内山秀三さんの少年時代、家のすぐ裏は渋谷川だったという。「大雨が降ると、新宿御苑の池にいるコイが、渋谷川を泳いできてね。大人たちがタライですくって刺し身にして食べたもんだよ」…なんて、たくましい時代!

しかし、戦争が始まるとそう呑気なことも言っていられなくなる。「空襲で川に飛び込んだ人たちのガイコツが、渋谷川を埋め立てるとき何千何百と出た」というのは、玉川屋の中村光市さんが教えてくれた話。戦後しばらく経ってからも、今の霞ヶ丘団地あたりにあった防空壕の中で人が生活していたんだそう。戦争のにおいが残る中、神二の町に東京五輪がやってくる。

歴史の転換点 其の貳 東京五輪 昭和39年（1964年）

さすが東京五輪のお膝元! 国の主導で神二が整備された時代

東京五輪をきっかけに変わっていく神二を目の当たりにしていたのは、島田清代美さんと大友良一さん。このとき渋谷川は完全に暗渠となって、外苑西通りや、オリンピック道路（千駄谷小学校正門前の道路）ができた。「2階の物干し台から五輪の聖火台が見えた」と言うのはヤマザキショップの奥山法子さん。聖火を持って登っていくランナーの姿も見えたそう。

正月三が日以外はフル回転していた神二の商店街。しかし、店主の世代交代と、原宿にアパレルが進出する時期とがちょうど重なったバブル期、店をたたんでアパレル事務所に貸し出すところも増え、商店はどんどん少なくなっていく。

歴史の転換点 其の参 バブル期 昭和61年～平成3年（1986～1991年）

ホステスが美容室に押しかけた時代 そして渋谷川の流れは今も密かに…

商店の数が減る中、繁盛していたのは美容室。神二に住むことが銀座ホステスのステータスだった時代で、1さんのスター美容室には、16時になるとホステスが店に押しかけたそう。

大きく変わった神二だけれど、サイン写真館の斎院勉さんからはこんな話を聞いた。神二の土地は水害に遭いやすく、数年前には大雨でユナイテッドアローズが浸水したことがある。5mくらい掘ると水がしみ出すので、地下深い建物が作れない。それは今でも地下に渋谷川が流れているから。普段は気づかないけれど、今も神二の暮らしは渋谷川とともにある。変わったことと変わらないことの中で、神二の歴史は刻まれていく。

生き証人 File

001.

町内篤（とび）頭
内山秀三さん
神二歴●83年



昭和8年（1933年）生 / 「空襲のときは、今の日本青年館の地下にあった防空壕に逃げ込みました」

002.

玉川屋
中村光市さん
神二歴●約60年



昭和10年（1935年）生 / 「毎月1回、神二の商店街全体が休みになる日がありました」

003.

クリーニングシマダ
島田清代美さん
神二歴●66年



昭和22年（1947年）生 / 「初代の父は観音坂で開店。私が3歳のときに神二に引っ越してきました」

004.

ブチ・コーポ大友
大友良一さん
神二歴●68年



昭和23年（1948年）生 / 「少年時代は戸板をソリにして、今の外苑西通りにあった丘を滑っていました」

005.

ヤマザキショップ
奥山法子さん
神二歴●69年



昭和11年（1936年）生 / 「22歳で嫁いで来たころは、主人と主人の姉が店を切り盛りしていました」

006.

スター美容室
|さん
神二歴●53年



昭和16年（1941年）生 / 「開業当時はホステスたちに“こんなセツトじゃだめ!”と鍛えられました」

007.

サイン写真館
斎院勉さん
神二歴●75年



昭和16年（1941年）生 / 「うちが創業する前は、この土地には渋谷信用金庫の事務所がありました」

008.

La Cantina BESSHO
別所順子さん
神二歴●約55年



昭和18年（1943年）生 / 「豆腐のキムラ屋があったころはボウルを持って生揚げを買いに行きました」

千駄谷小学校 6年1組も 歴史を調べたぞ

Sendagaya primary school History expedition team



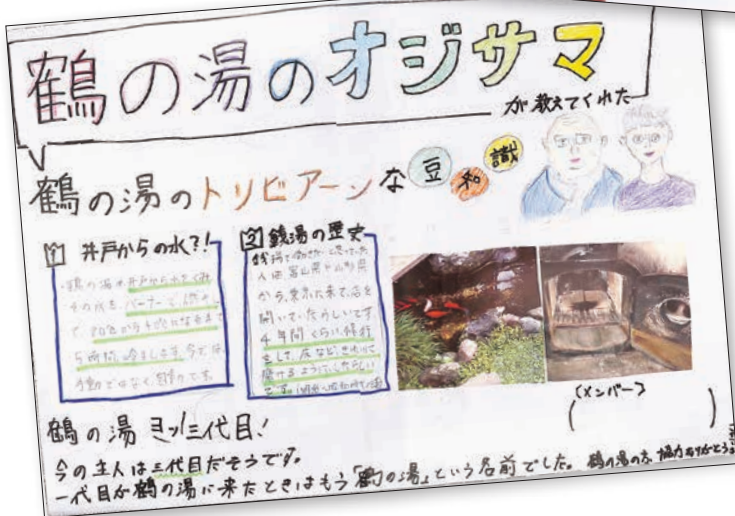
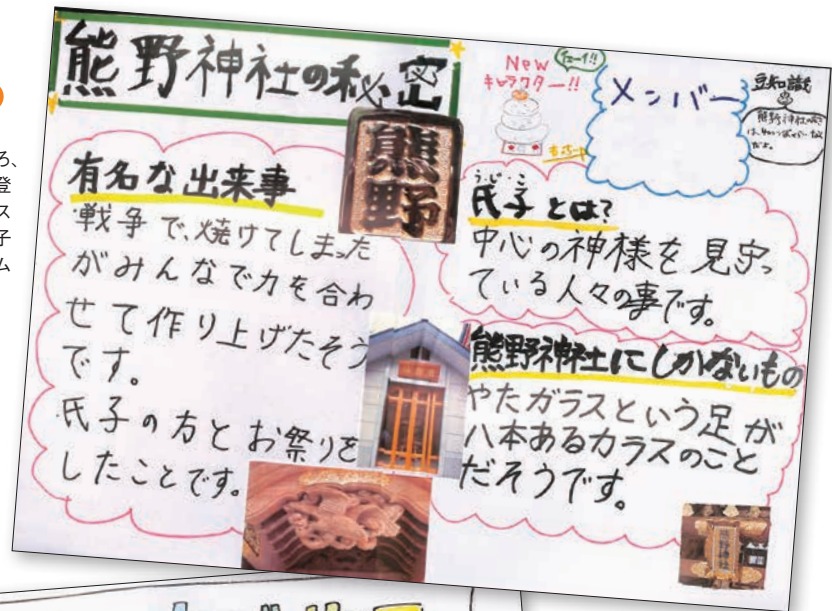
「私たちが調べた地域の歴史を、新聞に載せてくれませんか？」それは、千駄谷小学校6年1組の児童からの電話だった。3~6人ずつの班に分かれ、この近所で長い歴史をもつ場所を調べているという。神二じゃない場所が大半だけど、今回は特別に載せてあげましょう（偉そう）。ただし、「最低20個の質問を考えて取材すること」を宿題に出しました。夏休み直前の7/20、6年1組の教室で行われた児童たちの発表を紹介します。

協力=千駄谷小学校 文=上野絵美 撮影=松村小悠夏

青山熊野神社

(渋谷区神宮前2-2-22)

編集部が調べたところ、やたガラスは神話に登場する3本足のカラスのこと。サッカー男子日本代表のエンブレムにも使われている。



鶴の湯

(渋谷区千駄ヶ谷4-16-4)

お湯は、井戸から汲んだ水をバーナーで80℃に熱し、5時間かけて40℃まで冷ましているそう。

「神二サンド」第2弾、やります!

[#006 神二サンドの運命やいかに]

「神二サンド」に興味のある飲食店のみなさん、ご連絡お待ちしております!



プランナー
の
宮やっこ



デザイナー
じん
神やっこ

神二の名物をつくろう!という思いで始まった「神二サンド」*。

鳴り物入りでのピープルデザインストリート参加だったにもかかわらず、たくさんのサポートのおかげで、

お客さんにも、お店の方々にも大好評。このまま継続して育てて行けば…と思いきや、

神やっこは何やら物足りない様子。そして、新たな挑戦へ?

PROFILE

神二姉妹

どんなことが人の心を動かし、人の記憶に残ったりするのかを毎日あれこれ考えている、広告会社勤務のデザイナー・神やっことプランナー・宮やっこ。この街のご近所さん同士で、旅好き・美味いもの好き・男好きという共通点のもと、クリエイティブユニット「神二姉妹」を結成しました。恋人同士でもなければ、血も繋がってない、叶姉妹みたいなものです(笑)。

宮やっこ ▶ ねえさん、神二サンド、良かったですね! 子ども達が嬉しそうに100円玉握りしめて選んでたの、かわいかったなあ。
神やっこ ▶ そうだねー。やっぱり手にとれるものっていいよね。それぞれのお店の個性も光ってたしね。
宮 ▶ そうそう。個性がありつつ、

みんな同じ大きさで、同じ値段で、統一感もあって。絶妙なバランス。今度は、包み紙とか看板とかもデザインしていきたいですね!
神 ▶ そうだね…。
宮 ▶ もっと参加店舗を募って、神二サンド30種類入りパーティーセットとか作っちゃいます? 最近、グラマラス×キャンピン

グの「グランピング」(贅沢なキャンプ)とか流行ってるし、オシャレ重視のキャンプ地とかに販売しても良いし。

- 神 ▶ うーん…そうねえ…。
- 宮 ▶ ねえさん、どうかしました?
- 神 ▶ なんか、ちょっとワクワクしないんだよね。ゴールが見えないというか。
- 宮 ▶ じゃあ100種類とかでギネス応募しちゃいます? 地元愛×クリエイティブで米国一暮らしたい街に選ばれたポートランドとかに勝負かけましょよ。
- 神 ▶ それだ!

- 宮 ▶ 地元愛ですね! 愛だろっ、愛! プブ、古い!(笑)
- 神 ▶ いやいや、そっぢゃなくて。
- 宮 ▶ どっちですか?
- 神 ▶ 勝負のほう! みんなで仲良く同じフォーマットで完売しました!もいんだけど、神二の飲食店同士は仲間でありながらも、よきライバルだと思うんだよね。切磋琢磨こそが、街を元気にすると思うんだ。
- 宮 ▶ てことは、10/10開催のピープルデザインストリートにはどう参加する?
- 神 ▶ 題して、神二サンド・バトル!

- 参加店舗が「Teamゴッド」と「Teamダブル」に分かれて、神二サンドで対決するのはどうだろう?
- 宮 ▶ それ、めっちゃワクワクする! ルールとか決めて、早速、募集開始しないとですね。審査員は、もちろん…?
- 神・宮 ▶ 神二ピープル!
- 神 ▶ 僕らのよきライバル、プロデューサーXにも声をかけて、早速、企画開始だね。
- 宮 ▶ 神宮前二丁目商和会にも、イベント参加の申し込みを出しておきます!



※2016年5月15日に神宮前二丁目の商店街で行われたイベント「ピープルデザインストリートvol.4」。ここで編集部は、神二にある8店舗が作ったイベント限定のミニサンドイッチ・神二サンドを販売した。写真左/神二サンドの販売ブース。全て1個100円で販売し、計251個が完売!

神宮前二丁目で 出会った動物

取材・文・撮影=上野絵美

スターくん

- 年齢…約1歳 ●体長…約5cm
- エサ…昆虫ゼリー「スリム50」
- 飼い主…

ミクブライドまどかさん
ニコちゃん 小学3年生



スターと妻・クリスタルが過ごすケース。40分ほど待ったが、クリスタルは土の中から姿を現さなかった



輝くスターの背中

「昆虫コワ〜イ」って可愛いこぶるつもりはないけれど、間近で見るとやっぱ怖い。でもまどかさんは「食べてる姿は可愛い」とにっこり。名前の由来は日差しを受けると背中のうぶ毛 (?) がキラッと光るから。カブトムシの美しさに気づけました。

神二の酒場で会えるかも

とある夏の夜7時、編集部「ハハハ」
と荒い息がこだまする。声の主はムチムチボディの餡子。広瀬さんが神二で呑み歩くときによくお伴するため、呑み屋に顔なじみが多いそう。CMやカタログに出演しただけあって、今回の撮影はスムーズに終わりました。最後までハハハしていた餡子よ、暑い中ありがとう!

餡子ちゃん

- 年齢…7歳
- 体重…12kg
- 犬種…フレンチブルドッグ
- エサ…ユーカヌバ(ドッグフード)
- 飼い主…

ひろせ
広瀬はかるさん
会社役員



カメ吉くん

- 年齢…12歳 ●体長…20cm
- 種類…ミシシippアカミミガメ
- エサ…テトラレプトミン

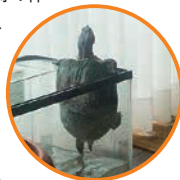
●飼い主…

あずまたかえ
東孝江さん
ハンガリーレストラン
「AZ Finom」オーナー



「亀=のんびり」とは限らない

移動が速い、「シャー」と鳴き声をあげて威嚇する、自力で水槽から出ようとするやんちゃなカメ吉。カメラ目線になるし(カメだけに?)、話しかけると見つめ返してくるおちゃめさも。東さんが青山のピーコックで購入した当時の体重は15g。12年経ち、1kgを超えるビッグな男になりました。



神二新聞を見て 連絡をくれた みなさま

文=上野絵美

図書館で「神二新聞」が展示されます

● 練馬区立南田中図書館

9/4(日)まで開催の「地方発 まちを知るリトルプレス」に、神二新聞も展示中。展示コンセプトは「読んでその場所へ行きたくなるようなリトルプレス」だそう。

● 宮崎県都城市立図書館

選書担当の「フリベ通信」より依頼をもらい、9/3(土)~18(日)開催の「第2回 全国フリーペーパー展」への展示が決定。神二新聞、九州デビューです!

新婚さんいらっしゃい

● 「もつ鍋旦過」小林浩二さん

7月に入籍した小林さん。半年の交際を経て、108本のバラと共にプロポーズしたそう。「笑いが絶えず思いやりを忘れない家庭を築きたいです!」



神宮前二丁目新聞を一緒に作りませんか？

神宮前二丁目で暮らす人・
働く人・遊ぶ人なら誰でもOK!

情報提供・企画参加

「回覧板」への掲載

「服譲ります」「期間限定メニュー始めました」など神二の人にいま知らせたいことをご応募ください。掲載料は無料です。

●「回覧板」のスケジュール

9月号 9/5(月) 応募締切

▶9/20(火) 発行

10月号 10/3(月) 応募締切

▶10/20(木) 発行

編集部は無茶ブリ取材依頼

神二で気になる場所やうわさ、あなたに代わって編集部が取材します。

カメラマン、イラストレーター

謝礼のお支払いはできませんが、それでもOKというかた、プロ・アマ問わずお待ちしております。

店頭配布

神宮前二丁目新聞を置いてもらえるお店を募集中。希望のかたには写真の配布スタンドもお渡しします。



公開編集会議にいらっやい

「こんな企画をやってほしい」など、神二新聞の制作に興味があるかたを待ちしています。飛び入り参加も歓迎!

●参加費…無料

簡単なおつまみと飲み物をご用意しています

●日時…9/13(火) 18~20時

●場所…神宮前二丁目新聞編集部
神宮前2-33-18
ピラ・セレーナ303

応募先

電話 ▶03-3478-1774

メール ▶jin2shinbun@pot.co.jp

WEBサイトに応募フォームを設けています

神宮前二丁目新聞 検索

FAX ▶03-3402-5558

WEB ▶http://jin2news.net

トップへ応募



STAFF DATA 神宮前二丁目新聞編集部の過去



中田 せら (4歳頃)



松村 小悠夏 (4歳)



松中 権 (3歳頃)



上野 絵美 (3歳)



田村 美沙紀 (3歳)



田中 美菜 (2歳頃)

編集後記

p5の地図にある「別所商店」。現在は「La Cantina Bessho」というワインショップだが、1989~2011年までは「ワイン&グロッサリー-BESSHO」という名で、酒や弁当を販売していた。弁当は料理上手な別所順子さん(p7)の手作りだ。そんな順子さんに神二の歴史を取材したら、お手製の赤飯を頂いた。甘みがあってもちもちで、コンビニのとは味が全然違う。順子さんがおぼあちゃんから教わった、歴史の長い赤飯なのだ。(上野)



神宮前二丁目新聞 第6号 2016年8月20日発行
8,000部 両面4Cマットコート90kg

発行 ▶ポット出版

制作協力 ▶認定NPO法人グッド・エイジング・エールズ

問い合わせ先 ▶電話 ▶03-3478-1774 住所 ▶神宮前2-33-18

ピラ・セレーナ303号室 メールアドレス ▶jin2shinbun@pot.co.jp

●次号「神宮前二丁目新聞 第7号」は11/20(日)発行予定